

中之島アゴラ構想基本計画（案）

中之島アゴラ構想推進協議会

平成30年 8月

はじめに

- ◎ 中之島地域は、大阪駅周辺、御堂筋周辺地域とともに、大阪、関西のみならず国土の発展、成長をけん引する国際競争力を備えた拠点の形成をめざしている。
- ◎ このため、国際レベルの人材・企業の活動の受け皿となり、多様な人々の交流を通じ、新たな価値・情報・文化等を創出する知的創造拠点機能を強化。
- ◎ 中之島地域における、これまでの業務・文化・MICE機能の集積に加え、新美術館の整備や、ハイエンド人材の育成に資する大学等の高等教育施設を導入するなど、これらが連携・調和し相乗効果を発揮するまちづくりを実現。
- ◎ あわせて、新美術館の整備により、既存の国立国際美術館・市立科学館とのミュージアムトライアングルを形成し、国際的な文化・芸術機能の強化をめざす。
- ◎ 大阪大学からの中之島アゴラ構想の提案を踏まえ、これらの中之島地域のまちづくりを推進する文化、芸術、学術、技術のあらたな交流・発信拠点を実現すべく、大阪大学のこれまでの実績及び既存の中之島センターを有効に活用しながら今後の進め方を整理し、本基本計画（案）を策定するもの。

コンセプト

産学官の連携により、

文化・芸術・学術・技術のあらたな交流・発信拠点となる“中之島アゴラ”の形成を推進する

“中之島アゴラ”の意義

- ◎ 世界に向けた社会的価値の創造…大阪大学中之島センターでの蓄積を活かした、さらなる社学共創の展開
- ◎ 中之島エリアのブランド化とシビックプライドの強化…国立国際美術館・市立科学館・(仮称)大阪新美術館の形成する“ミュージアムトライアングル”との連携・調和
- ◎ 後続するまちづくり計画への波及…中之島エリアにとどまらず、関西全体のまちづくり・産業創出に寄与

“大阪大学の知”の活用

- ◎ 国立総合大学としての高いポテンシャル…優れた人材、卓越した教育研究内容を有する我が国屈指の研究型総合大学。学部学生数は国立大学で最多。
- ◎ 産学連携における先進性と高い研究力…全国の大学に先駆けて「共同研究講座」等を設置し、「Industry on Campus」構想を実現。大阪大学のイノベーション貢献度は世界31位、国内第1位（Nature Index 2017 Innovationランキング）。
- ◎ 世界と繋がるネットワーク…企業や市民が大阪大学と繋がるだけでなく、大阪大学が持つ国内外への強力なネットワークを通じて、中之島から世界に直接繋がる。

“大阪大学の資産”の活用

- ◎ 社会貢献拠点の活用…大阪大学における社会貢献の拠点として存在する中之島センターを最大限活用し、大学における教育研究と社会のニーズが組み合わさる場を創造し、一層の社会貢献に繋げる。

社学共創・産学共創・アート拠点の形成予定地

<大阪市北区中之島4丁目>

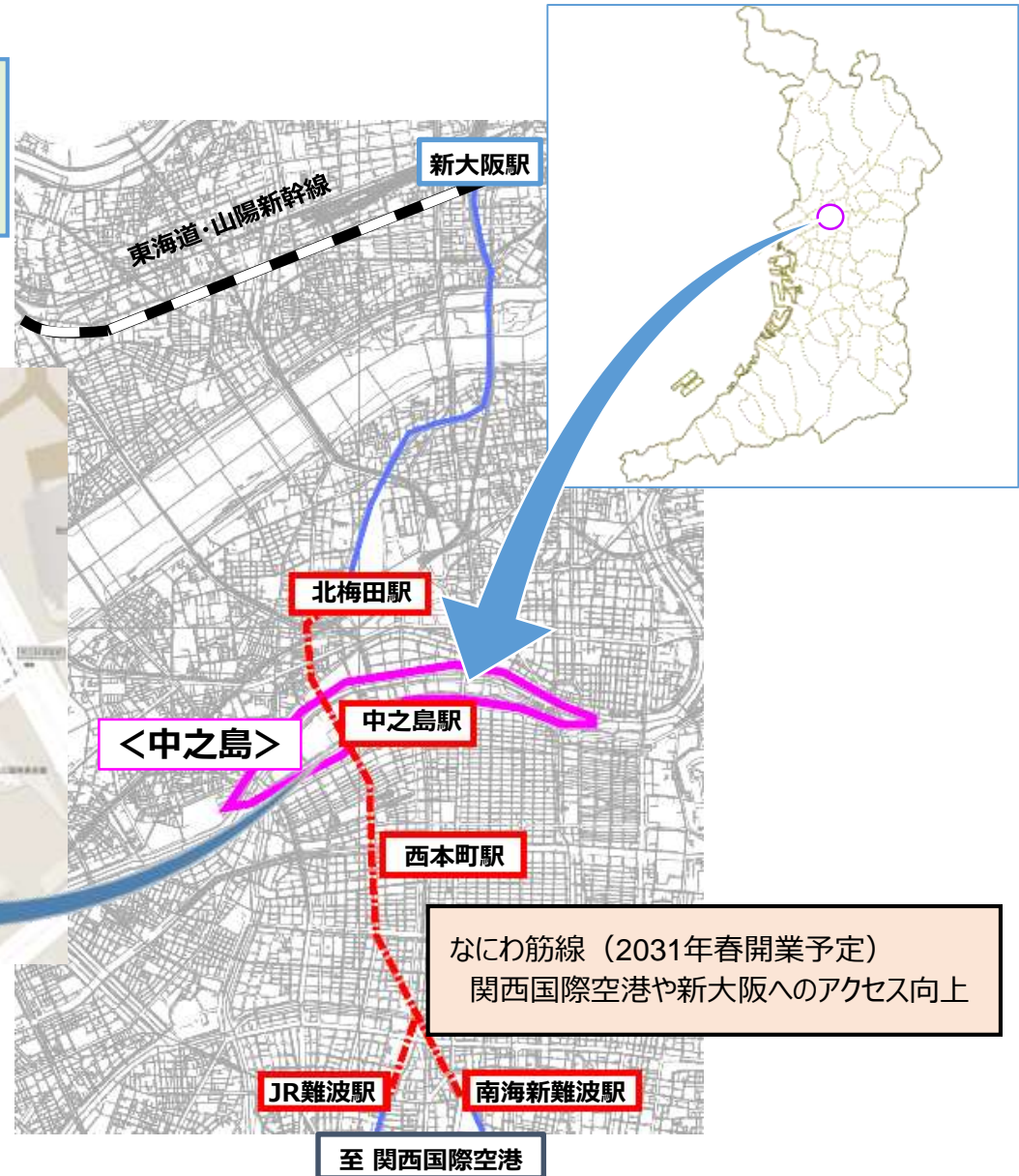
社学共創・産学共創・アート拠点

敷地 約1,000㎡

※既存中之島センターを改修・機能強化

未来医療国際拠点候補地

敷地 約8,600㎡



※隣接する未来医療国際拠点候補地及び、市有地、民間所有地の開発については、社学共創・産学共創・アート拠点との連携等の協力を求めていく

拠点の機能

※今後の検討状況によって変更する可能性がある。

社会学共創拠点

- 大阪大学中之島キャンパス社会学共創拠点の強化
- 地域社会やその諸機関との連携による人材育成機能・社会学共創人材ネットワーク構築
- 自治体・企業等との連携による社会学共創のグローバル化

アート拠点

- (仮称)大阪新美術館など近隣の芸術系諸機関との研究教育連携など社会学共創型アートリサーチと共創事業の推進
- 海外の芸術系諸機関との連携推進などグローバルネットワーク構築とグローバル人材育成
- 学生・社会人アートファシリテーター育成などアート関連教育と芸術・情報発信事業

産学共創拠点

- 大阪大学の有する研究シーズと企業のビジネスニーズのマッチングシステム（リサーチクラウド・アライアンス）の形成
- 産学連携、知財運用等の専門コーディネーターによるオープンイノベーションの加速
- 社会人向け教育・研修プログラムの提供や高度医療人材育成プログラムの拡充

社会学共創拠点

中之島キャンパス社会学共創拠点化

人材育成機能・社会学共創人材ネットワーク構築

社会学共創のグローバル化

①大学ヘリテージ機能の充実

・適塾、懐徳堂を精神的源流とする大阪大学の歴史啓発や関連する情報発信のため、ミュージアム展示場を設置し運営

②大学アウトリーチ活動の推進

・大阪大学の学知や研究成果の発信と公開

③地域社会・諸機関との社会学共創の実現

・中之島地区のみならず地域社会やその諸機関とのネットワーク構築と社会学共創活動の推進

④卒業生との連携強化

・中之島地区を拠点にした卒業生との連携を強化し社会共創を実現

⑤老若男女が集う学び直しの場の提供

・リカレント教育としての公開講座の充実、拡充

⑥グローバル地域連携の推進

・自治体・企業と連携したグローバルな地域活性化の推進（人文社会系の共同研究の推進）

⑦社会貢献事業の国際発信

・適塾記念センターオランダ学部門を活用した大阪大学の歴史・社会貢献事業の国際発信

実施内容

施設イメージ

実施内容	施設内容	施設詳細等	面積	総面積
①②⑦	ミュージアム展示場（情報発信スペース）		150㎡	計1,100㎡ （共用部除く）
③④⑤⑥	交流スペース		200㎡	
③④⑤⑥	多目的室	2部屋	150㎡	
⑤	講義室	100㎡×3部屋、50㎡×6部屋	600㎡	

* 面積値については概数

アート拠点

社会学共創型アート・リサーチと 共創事業推進

①アート系大学院コースの創設と中之島での社会学共創的教育研究展開

- ・社会の諸課題を解決する現代アートについての研究教育を社会学共創を通じて展開する
- ・展覧会、パフォーマンス、講演会など各種アート関係催事の共同開催

②中之島地区&周辺芸術諸機関との研究教育連携ハブ構築

- ・（仮称）大阪新美術館をはじめ近隣の芸術系諸機関と連携する実践的共同研究推進

グローバル・ネットワーク構築と グローバル人材育成

③グローバル・インターンシップ展開

- ・海外の芸術系諸機関との連携を進め、相互にインターンシップを推進する
- ・大阪市内を中心に芸術系諸機関と海外からのファンリテーター、学芸員、制作企画者などの交流拠点として展開する

④グローバル・ネットワーク構築

- ・ヨーロッパ・アジアの芸術系機関・大学等との共同研究、共同作品企画制作などを通じたグローバルネットワークを構築していく

アート関連教育と 芸術・情報発信事業

⑤学生・社会人アート・ファシリテーター育成

- ・文学研究科などが推進するアート人材育成プログラムや大学院プログラムなどを中之島センターにおいて展開することで、芸術系諸機関在職者や芸術系諸機関への就職を希望する学生・社会人教育を実施していく

⑥アート系多目的ホールの運営

- ・中之島センター内において芸術系多目的ホール（ホワイトキューブ）の運営を行うことで、中之島地区を拠点とする芸術発信・社会学共創事業を推進し、全国的にも傑出した芸術アート推進地区として整備し、世界に発信していく

⑦オープン・アーカイブズ&ライブラリー

- ・芸術系アーカイブズや芸術系図書のみ市民解放によるオープン・エデュケーションを実施し、社会学共創を実現していく

実施内容

施設イメージ

実施内容	施設内容	施設詳細等	面積	総面積
①②③④⑥	多目的ホール（ホワイトキューブ）	客席数250	250㎡	計1,100㎡ （共用部除く）
	アートスタジオ（制作、共同研究の場）	10部屋	200㎡	
	多目的スペース（稽古場としても可）	4部屋	200㎡	
⑦	ライブラリー・アーカイブ		150㎡	
全体	教員・特任居室／学生居室	8部屋	200㎡	
	会議室	1部屋	50㎡	
⑤	教室	1部屋	50㎡	

* 面積値については概数

産学共創拠点

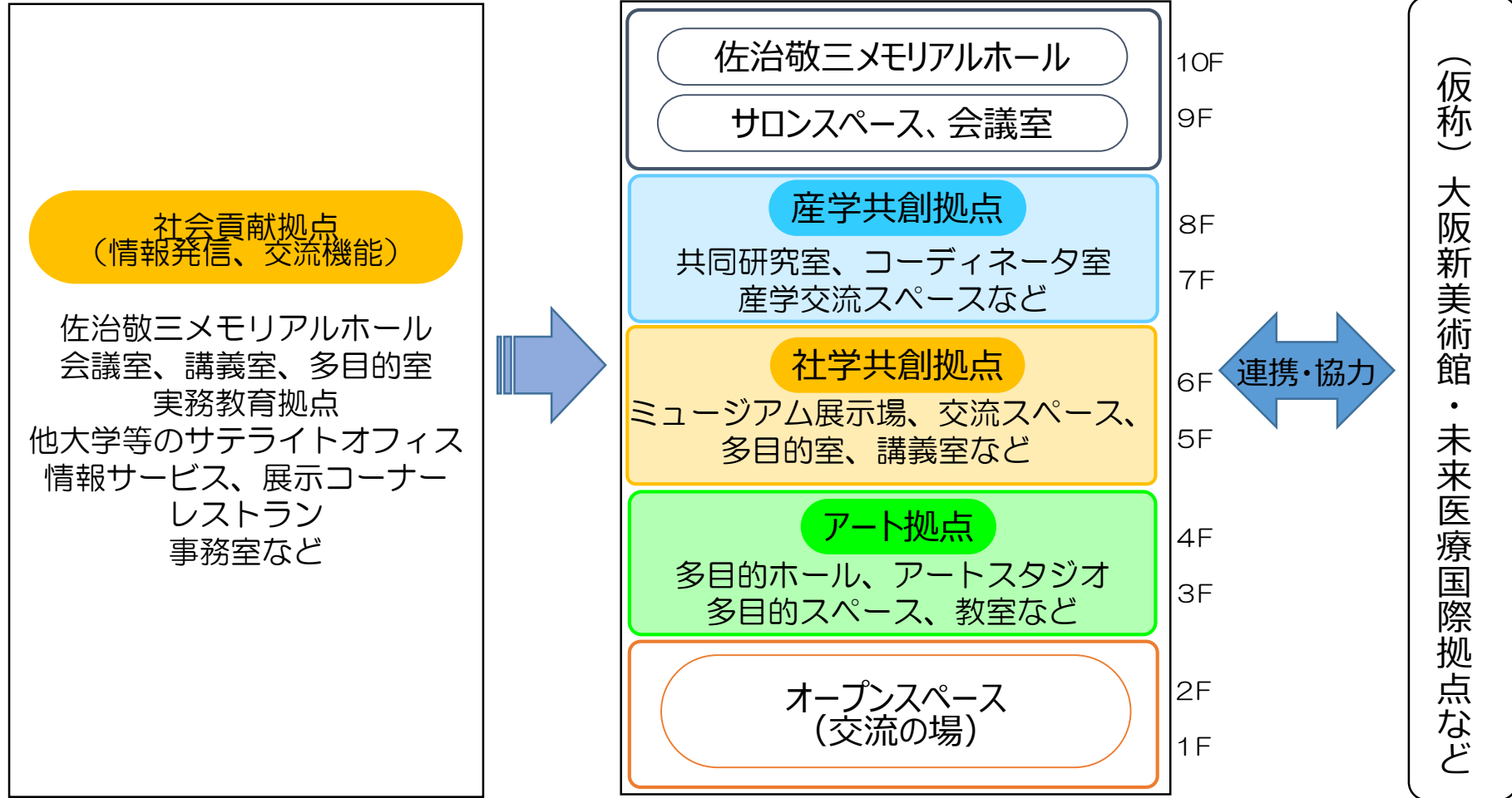
	オープンイノベーションの加速	人材の育成	導入する機能																										
実施内容	<p>①リサーチクラウド・アライアンス（RCA） 大阪大学の有する研究シーズと企業のビジネスニーズのマッチングシステムの形成。大学と企業が事業や価値を共創する場に</p> <p>②産学連携活動 分野や組織を横断する共同研究講座・協働研究所の設置。大学のための産学連携から社会のためのパートナーシップへ</p> <p>③知財運用活動 戦略的知財の運用による事業化利益の確保。共同研究・ベンチャー起業等の事業化支援。オープン・クローズド戦略への対応。知財のプール化・パッケージ化によるオープンイノベーションへの貢献</p> <p>* ①～③専門コーディネータによるワンストップサービス</p>	<p>④社会人教育・ビジネススクール 「先端技術」から「マネジメント」まで医療を含む幅広い分野の社会人向け教育・研修プログラムを提供。オンライン講座の発信</p> <p>⑤高度医療人材育成プログラムの拡充 ファーマトレイン、バイオデザイン、メディカルデバイス・デザイン等</p>	<p>⑥医療情報科学センター バイオインフォマティクス、ビッグデータ、AI、ロボティクス等の研究拠点機能。</p> <p>⑦アウトリーチセンター 学術研究から生まれるイノベーションの社会還元、展示、成果のデモンストレーション。メディアへのプリーフィング、サイエンスカフェ、研究者座談会の開催。</p>																										
	施設イメージ	<table border="1"> <thead> <tr> <th>実施内容</th> <th>施設内容</th> <th>施設詳細等</th> <th>面積</th> <th>総面積</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①②③</td> <td>コーディネータ室</td> <td>3部屋</td> <td>100㎡</td> <td rowspan="5">計1,100㎡ (共用部除く)</td> </tr> <tr> <td>②⑥</td> <td>共同研究室+ラボスペース（ドライ）</td> <td>4ユニット</td> <td>700㎡</td> </tr> <tr> <td>⑥</td> <td>計算サーバ室</td> <td></td> <td>100㎡</td> </tr> <tr> <td>①⑦</td> <td>産学共創交流スペース（打合せスペース）</td> <td></td> <td>100㎡</td> </tr> <tr> <td>④⑤</td> <td>多目的室（セミナールーム）</td> <td></td> <td>100㎡</td> </tr> </tbody> </table>			実施内容	施設内容	施設詳細等	面積	総面積	①②③	コーディネータ室	3部屋	100㎡	計1,100㎡ (共用部除く)	②⑥	共同研究室+ラボスペース（ドライ）	4ユニット	700㎡	⑥	計算サーバ室		100㎡	①⑦	産学共創交流スペース（打合せスペース）		100㎡	④⑤	多目的室（セミナールーム）	
実施内容	施設内容	施設詳細等	面積	総面積																									
①②③	コーディネータ室	3部屋	100㎡	計1,100㎡ (共用部除く)																									
②⑥	共同研究室+ラボスペース（ドライ）	4ユニット	700㎡																										
⑥	計算サーバ室		100㎡																										
①⑦	産学共創交流スペース（打合せスペース）		100㎡																										
④⑤	多目的室（セミナールーム）		100㎡																										

* 面積値については概数

拠点イメージ

現在の大阪大学中之島センター

改修・機能強化後の大阪大学中之島センター



敷地 約1,000m²
延床面積 約8,200m²

事業スキーム：大阪大学による整備（※整備費は募金活動により確保する予定）

拠点の効果

社会学共創拠点

- 中之島4丁目は、懐徳堂、適塾から近く、これらを活かした取組みを積極的に実施することが可能
- 都心の強みを活かし、府民市民が来やすく、一方通行ではない相方向の社会学共創の強化が可能

アート拠点

- 大阪大学の知を活かしたアート拠点と（仮称）大阪新美術館など近隣芸術系諸機関や近隣自治体などの社会学共創的研究教育連携が可能
- 劇場・音楽堂・美術館の学芸員、キュレーターやそれらの来館者と連携することにより、新しい芸術の創出が期待される
- 各種の芸術系プログラムを通じ現代アートや芸術を活用した高度なアート系ファシリテーター育成をおこない、関西のアート・芸術的潜在力向上に繋がる
- 学生はもとより、広く社会人教育を展開し、大阪や関西におけるアート人材の掘り起こしや、多様化に資する

産学共創拠点

- 都心の強みを活かし、様々な企業に対して大阪大学の技術やシーズを発信しながら、様々な研究活動を行っている大阪大学の教員によるコーディネートにより、企業のソリューションにつなげていくことが可能
- 大阪大学においても、市民や企業のニーズをアンテナ機能として取り入れていくことが可能

スケジュール

2018年
7月

2018年度
～2022年度頃

実施する事業内容の
規模・効果の具体化

中之島センターの改修・
機能強化方策の決定

基本計画（案）
策定

事業計画の
具体化

施設
整備工事

施設
オープン

大阪大学創立90周年・
大阪外国語大学創立100周年
記念事業募金
2018年秋頃～2022年3月

※今後の検討状況によって変わる可能性がある。